

2022年8月12日

各 位

当社子会社における「SDGs 療育ゲーム」ポータルサイト開設のお知らせ

当社子会社ガルヒ就労支援サービス株式会社(以下、「ガルヒ」といいます。)において、ガルヒの展開する就労支援事業所に通う障がい者が『療育向けのカジュアルゲーム』を開発し、障がいのある児童やその可能性のある児童に対して開発したゲームを提供する『社会貢献循環型プロジェクト「元気玉! SDGs 的療育ゲームプロジェクト」』を展開しております。

その概略を紹介したポータルサイトの準備が完了し、2022年8月12日に開設されましたので、以下のとおりお知らせいたします。



1. SDGs 療育ゲームについて

当社は、子会社であるガルヒのみならず、同じく子会社である株式会社 SDGs technology において最先端テクノロジーを活用した SDGs 事業について連携し推進しております。

また、「療育(発達支援)」とは、障がいのあるお子様やその可能性のあるお子様に対し、個々の発達の状態や障がいの特性に応じて、現在のお困りごとの解決と、将来の自立、社会参加を目指し支援をすることを指します。

昨今、こうした療育現場においても DX 化の流れは必須となっており、ガルヒでは知育の教材として『カジュアルゲーム』を開発し、これらを市場投入することにより、主に障がい児向けの療育支援を行っております。

障がい者同士が助け合い、また社会的付加価値を高めあえるような社会貢献循環型プロジェクトを志しており、主に以下の目的を目指し事業を推進しております。

- (1) ゲームを作る側の障がい者は、簡単に制作できるゲーム開発を通じ、自信をつけ、IT 現場での開発実務や基礎的な技術を習得することができる。

(2) ゲームを使う側の障がい児が、カジュアルゲームを遊ぶ体験を通じて、将来ゲームを作る側で社会貢献をしたい、と感じてもらいやすくなる。

(3) ゲームの利用料は全て無料とするが、広告費が入る仕組みとなっているため、施設本業以外の収入が見込め、助成金を始めとする従来の制度に依存しない施設運営が実現する。その結果として、SDGs 発足の理念における最も根幹な項目、持続可能性をソフト領域*から担保することができる。

※地球規模の持続可能性を重視した環境問題への対策をハード領域、社会人が平等公平に安心安全な生活を営めることを重視したサービス領域における持続可能性実現への対策をソフト領域とガルヒでは定義しております。

(4) ゲーム制作に慣れることで、障がい者・障がい児両者における、ゲーム会社への就職活率が高まり、障がい者の就労に大きく貢献できる。

2. SDGs 療育ゲームのポータルサイトについて

以下の URL より、ガルヒの展開する『カジュアルゲーム』の概要をご覧ください。

【『カジュアルゲーム』ポータルサイト】

<https://garhisdgs.com/>

ガルヒでは、障がい者・障がい児の現在または将来の就労機会の拡充を志し、社会貢献循環型の事業を引き続き展開いたします。

【主なリリース済みのゲーム】

カジキ釣り



30枚ぶち抜け



文具パズル



3. お問い合わせについて

障がい者・障がい児の療育に課題を感じるお客様、療育を支援することで社会貢献循環型の施設運営事業に興味のある事業者様は、以下のガルヒのウェブサイト、及び『カジュアルゲーム』のポータルサイトより、お気軽にお問い合わせください。

【ガルヒ就労支援サービス株式会社の HP】

<https://garhisv.com/>

【『カジュアルゲーム』ポータルサイト】

<https://garhisdgs.com/>

以上